

オンライン交流会

青少年交流の代替事業として、オンライン交流会を実施しました。中学生は10名、高校生は15名が参加しました。昨年も交流したベルギー・シャルルロア、フランス・シャンティイ、オーストラリア・アデレードに加え、今年は、中国・太原、ブラジル・クリチバ、オーストラリア・パースとも交流しました。

昨年とは違った内容にするため、姫路城をクローズアップしてプレゼンテーションすることにしました。交流前に実施した全3回の事前研修では、交流相手の文化を知る研修や、実際に姫路城へ行ってガイドの案内を聞くなどして、交流のためにしっかり準備しました。また、中学生・高校生ともに英語だけでなく日本語でも交流する機会もあるため、普段話している日本語ではなく“やさしい日本語”で話す練習も行いました。

中学生は、7月にベルギー・シャルルロアのホストファミリーの方々と英語で、中国・太原の太原市外国語学校で日本語を勉強している中高生と日本語で、11月にフランス・シャンティイの高校生と英語で交流しました。グループワークや質疑応答を通して、より深く相手の文化を知ることができました。また、3か国と交流することで、各国の文化を知るだけでなく、それぞれの文化と日本との違いなど知ることができました。



高校生は、7月に中国・太原の太原市外国語学校で英語を勉強している中高生と英語で、8月に兵庫県の姉妹州である西オーストラリア州の州都パースにあるCurtin大学で日本語サークルに参加している大学生と日本語と英語で、オーストラリア・アデレードのAdelaide Botanic High Schoolで日本語を勉強している中高生と日本語と英語で交流しました。全ての交流で、プレゼンテーションやクイズを通して楽しみながら交流都市を知ることができました。また、日本に興味がある方との交流のため、様々な話題で盛り上りました。

10月に実施した国費留学生、または国費留学したことがあるブラジル・クリチバの大学生との交流には中学生と高校生が参加し、日本語で交流を行いました。クリチバとは、2012年以降青少年交流を実施していないため、ブラジルの文化とクリチバを知るとても良い機会となりました。

交流会を通して、お互いの文化の理解が深まったことをとてもうれしく思います。プログラムを通して得た全ての経験を、参加したみなさんの将来に活かしてほしいと思います。